

令和6年度「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業」  
 (AIの活用による英語教育強化事業  
 /AI英語モデル校事業・AI英語活用リーダー事業)  
 審査項目及び配点

別紙4

満点 158

審査項目		評価点	計数
(1)AI英語モデル校事業			
ア. 研究内容			
【共通】			
①	AIの活用目的、方法、場面及び使用回数等が、具体的かつ適切な計画になっているか。	5	3
②	<p>AIの活用を、英語による言語活動及び言語活動を通じた指導の充実にどうつなげるか、具体的かつ適切な計画となっているか。</p> <p>(例:授業での活用)            ・AIの特性を生かしてAIを活用する場面及び、敢えてAIを活用しない場面を考えて上で、教師がどういった活動を充実させるのか、AIにはできない役割をどう担うかをイメージした計画となっているか。            ・AIの利用に終始するような計画になっていないか。            ・人とのリアルなコミュニケーションなど、「実際のコミュニケーション」の場面がしっかり設定されているか。</p> <p>(例:家庭学習での活用)            ・家庭学習が授業における指導と連動したものになっているか。            ・AIを活用した家庭学習で判明した児童生徒の指導すべき点を踏まえ、授業での全体指導や個別指導にどう生かすかをイメージした計画となっているか。</p> <p>(例:パフォーマンステストでの活用)            ・パフォーマンステストの結果を教師の指導にどのように生かすかなど、評価と指導の一体化につなげる計画になっているか。</p> <p>(例:ALTやネイティブスピーカーとの接触機会が限られる地域での活用)            ・ALTやネイティブスピーカーとの接触機会が限られる地域において、AIの活用によって言語活動が充実すると、地方創生に貢献するような計画となっているか。</p>	5	4
③	<p>年間の実証スケジュール(モデル校との調整やモデル校の取組の年間スケジュール、連携・協力先との調整状況)が具体的かつ計画的なものになっているか。</p> <p>(例)            ・実証研究の実施が2学期から開始予定であったり、実証期間が極端に短い等になっていないか。</p>	5	2

④	<p>教育委員会及びモデル校の役割が主体的かつ具体的で、民間企業(アプリ会社等)と適切な協力体制が構築できているか。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の学校への支援や指導助言の体制が具体的であり、民間企業(アプリ会社等)に過度に依存した計画になっていないか。</li> <li>・計画が当該地域(法人)の英語教育に関する課題と関連しないなど、実情を踏まえていない計画になっていないか。</li> </ul>	5	2
⑤	<p>(加點)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用した学習成果を英語の授業以外の教科の授業や学校行事での児童生徒との交流など「人同士」のコミュニケーション活動(オンラインでの国際交流やイングリッシュキャンプ等)につなげる計画となっている。</li> </ul>	5	1
⑥	<p>(加點)</p> <p>AIの活用にあたり、ALTとの活動の場面を具体的かつ適切に位置付けた計画となっている。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用した場合に、ALTを授業でどのような活動に参画させるかに工夫が見られる計画となっている。</li> <li>・AIを活用した場合に、ALTによる授業外での活動を充実させるなど、ALTとAIの双方を活かした計画となっている。</li> </ul>	5	2
⑦	<p>(加點)</p> <p>AIの活用にあたり、AI以外のICT(デジタル教科書を含む)の利点を生かし、活用する場面を具体的かつ適切に位置付けた計画となっている。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用した場合に、デジタル教科書の活用場面の位置付けを明確にするなど、AIとその他のICTの双方を活かした計画となっている。</li> </ul>	5	1
<b>【個に応じた教材の作成や指導の充実】</b>			
⑧	<p>AIの特性や強みを踏まえ、児童生徒の学習進捗や特性に応じた指導における効果的な活用について、具体的かつ適切な計画となっているか。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIからの評価やフィードバックを参考にして、児童生徒の学習状況を把握し、個々に応じた学習内容や学習方法についての助言を行う。</li> </ul>	5	2
⑨	<p>(加點)</p> <p>不登校(を経験した児童生徒を含む)や、特別な支援を要する児童生徒の学習に効果的にAIを活用している。</p>	5	2
⑩	<p>(加點)</p> <p>児童生徒一人一人の興味・関心等に応じた教材(単語や表現リスト、練習問題等)の作成にあたり、効果的にAIを活用している。</p>	5	3

【授業での活用】			
	(加点) 現行教育課程の基準によらない教育課程(※)を編成し、実施する計画になっている。	5	1
⑪	※現行教育課程の基準によらない教育課程 学校教育法施行規則第85条(同規則第108条第2項で準用する場合を含む。)並びに第79条及び第108条第1項で準用する第55条に基づき、現行教育課程の基準によらない教育課程を編成、実施して研究開発(実証研究)を行う。	5	1
【課外活動での活用】			
⑫	(加点) 児童生徒がAIとの活動を行うことで、コンテスト・コンクールや地域活動への積極的な参加を促す等、クラブ活動や部活動等の課外活動においてAIを活用する計画になっている。	5	1
イ. 有識者等との連携			
⑬	(加点) 成果について、有識者や専門機関等による指導助言や評価、分析などを行い、指導方法やAIの活用場面・方法の改善に繋げる仕組みが設けられている。	5	1
ウ. 実践事例の普及			
(実施主体が地方公共団体(公立学校の設置者)の場合)			
⑭	課題に対して行った取組の成果やそこで明らかになった課題等を、当該地方公共団体内で広く普及するための方策が具体的に書かれているか。	5	1
(実施主体が国立大学法人・学校法人(国立・私立学校の設置者)の場合)			
⑭	課題に対して行った取組の成果やそこで明らかになった課題等を当該法人内や所在する地方公共団体内で広く普及するための方策が具体的に書かれているか。	5	1
(2) AI英語活用リーダー事業 ※私立学校については、AI英語活用リーダーを指定する場合に限る。			
⑮	AI英語活用リーダーが勉強会等を通して学んだことや、自らAIを活用する中で得られた知見について、他の英語教師に共有し、AI活用の普及を図るための体制や方策が具体的に書かれているか。	5	2

⑯	中長期的に持続可能な計画となっているか。  (例) ・国費に寄らず自主財源で実施する内容があるか。あるいは、将来的な自主財源化が想定されているか。 ・無償のアプリケーション・サービスを使用しているか。 ※無償のアプリケーション・サービスを使用する場合は、個人情報の扱い等、使用にあたっての注意点を教師が適切に理解し、児童生徒に正しく指導を行っているかにも留意すること。	5	2
⑰	・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく認定(えるぼし認定・プラチナえるぼし認定)を受けている。 ・次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づく認定(くるみん認定企業・プラチナ認定企業・トライくるみん認定企業)を受けている。 ・青少年の雇用の促進等に関する法律(若者雇用促進法)に基づく認定(ユースエール認定)を受けている。	8	1
合計①～⑰の評点×計数を合わせた数		158	
コメント			
総合所見			